■ドイツ：E.ON、Google と提携して家庭用需要家に太陽光パネル設置を推進

2017 年 5 月 2 日付報道によると、ドイツ電力大手 E.ON は、米国以外の国で初めて、Google の太陽光発電データのプラットフォーム「Sunroof」を導入することを発表した。Sunroof は、Google Earth のデータを用いて、屋根の形状と地元の天候パターンを分析し、各家庭が毎年受ける日照量を判断するものである。ドイツの家庭（700 万軒）は、E.ON のウェブサイトで、パネル設置でどれ位電気代が節約できるのかを計測でき、E.ON から直接太陽光パネルを注文することもできる。E.ON は 2016 年に火力部門等を Uniper として分社化して以降、風力、太陽光、バイオ燃料の開発に注力しており、将来はドイツ以外の欧州諸国にも同様のサービスを導入する予定である。